

平成25年度

事業報告書

自：平成25年 4月 1日
至：平成26年 3月31日

平成25年度 事業報告

1. 事業活動報告

平成25年4月のマスコミ報道では、総務省の人口推計で65歳以上の伸び率が埼玉県、千葉県そして神奈川県で5%前後に達し、都市部で高齢化が加速していることが明らかになった。

その理由は、都市部に住む団塊の世代が65歳以上の「高齢人口」の仲間入りをしたためであるが、老後を支える医療やサービスはなお整備途中と言える。

そんな社会背景の中、平成26年度診療報酬改定のポイントとして、全体としては、0.1%引き上げであるが実質1.26%のマイナス改定に加えて急性期病院に対しては厳しい内容であると共に消費税率の8%導入が求められている。

このような環境の中で当病院協会の一年を顧みると先ず、第一として、平成25年4月1日に公益社団法人への移行登記を行い、協会定款に定める設置目的の「地域医療の充実を図り、もって地域住民の健康と福祉の増進に寄与する」ことの具現化へ向けて新たなスタートをきった。

第二は、相模原二次救急医療の円滑な運営にある。当協会の設置目的のもう一つの要件として「相模原市域で発生する急病者に対し必要な医療を迅速に提供すること」であり、右肩上がりで増加する救急搬送患者に、より迅速で安全な医療の提供のため、今年度は、新たな試みとして、ゴールデンウィークお盆そして年末年始に内科二次応需を16日間であるが試行的に複数開設することにより受診時間の短縮と複数開設場所を南北の医療機関で実施したことにより効率的な医療の提供を一部可能化し大きな成果となった。

このことは医療従事者の加重労働からの開放となり、ひいては医療安全文化の構築へと繋げていくこととなる。

なお、一次事業である「相模原北メディカルセンター急病診療所（市医師会運営）」への医師派遣協力事業については、相模原協同病院の全面的な協力の下に実施し、一次医療機関である中央メディカルや南メディカルにおける内科受診者が微減する傾向がみられ、一定の成果があげられた。

第三は、相模原地域における「地域医療連携委員会」を組織化し、顔の見えるヒューマンネットワーク構築への第一歩を踏み出した。

また、情報公開の手段として本協会ホームページを8月期から新たに開設して会員及び地域住民への情報公開と発信を行った。

第四は、平成24年度から、市と「認知症患者に対する医療機関連携システム事業」を受託し来るべく高齢社会への到来に病々連携の進展を促進している。

また、委託事業に関連しては、市から医師会が受託している各種予防接種事業について、市医師会の協力に基づき、各病院が取扱う分を区分した上で新たな収益事

業として感染症予防対策の一翼を担っている。

第五は、公益財団法人相模原市健康福祉財団が運営する相模原看護専門学校の財政的、組織的支援を継続した。また、看護職の確保を目的として「看護職確保対策委員会」を設置し会員病院に確保対策に関してのアンケートを実施し、その結果、相談会や研修会を次年度開催に向けて立案・企画を行った。

今後、我が国の高齢者ピークを迎える2025年までに、あと10年の残された期間に更なる飛躍が求められるが、平成25年度の主要な事業実績について次のとおり報告する。

2. 主な事業実績

(1) 総務関係事業

- ① 定時総会は、「公益社団法人への移行記念定時総会」として5月に開催し、平成24年度の事業報告に伴う決算等の報告を行った。
- ② 理事会は4月24日開催の第112回理事会から3月18日の第121回理事会まで、延べ10回開催した。このうち、3回は拡大理事会（役員病院の事務長、看護部長等参加）として開催した。
- ③ 各部会・委員会については、B会員登録者115名も含め自主的活動など協会の各事業を推進する役割を担っていただき協会設立目的の達成に邁進した。
- ④ 会員の慶弔、懇親会等を通じた交流事業については、例年通り盛況な中で開催することができた。
- ⑤ 市及び関係団体等との連携・調整に関しては、市医療担当幹部職員との次年度予算の折衝を行い、本年2月7日には市医師会役員との通算10回目となる「役員等懇談会」を開催し協議事項としては次の事項に関して提案し質疑応答を行った。
 - ・ 看護師確保対策について
 - ・ 連携室の強化・地位向上について
 - ・ 相模原看護専門学校入学定員増員に対する協力について

(2) 救急医療対策事業

- ① 市から受託している二次救急医療事業（内科系、消化器系、循環器系、小児科、産婦人科）並びに自主事業である外科二次救急事業の円滑な運営や応需体制の決定に加えて病院相互協力の強化を目的として今年度中に7回（第28回～第34回）に渡り開催し救急医療に関連する搬送事例や転送事例などの支障症例の報告と検討を行うことにより情報を共有し、病院相互の連携機能強化と再発防止に繋げる努力を継続した。
- ② 内科複数開設に関しては、一地域の一医療機関に受診者が集中することなく南北地域に担当医療機関が分散することにより迅速な搬送や受診時間の短縮に繋がっており、救急医療の質的向上と医療スタッフの軽減負担に貢献できる結果となった。

今後も更に、一次、二次、三次の医療を担当する機関が効果的な連携がスムーズに行えるよう相模原市、市消防局、市医師会そして大学病院との更なる調整を行うことが求められる。

- ③ 三次医療機関との「相模原ルール」の運用に関して、二次救急運営委員会において発生事例を個別に報告し、必要な事案に関しては改善の道具として活用に結び付けるべく周知を行い搬送時の中断に伴うルール宣言を減らす努力を継続した。
- ④ 消化器系二次の在り方に関しては、搬送のルールの設定を行ったが具体的な方向性については、市が主催する「医療対策協議会（救急医療対策）」の消化器系小委員会でオンコール態勢の問題も含めて検討を重ねる必要がある。

（3）災害対策事業

- ① 市総合防災計画（救護訓練）へ参加したほか、第35回九都県市防災訓練に係る全体会議等への参加を通じて災害時等医療対策を実践した。
- ② 災害時救急医療の通信手段として求められる「衛星電話」を災害時医療救護体制整備に係る補助事業として救急告示14病院と三次医療機関1病院の15病院に設置を行い、新年度以降に使用に関しての説明会を実施する。

（4）地域医療対策事業

- ① 地域住民に対する最適な医療の具現化を求めて今年度、協会内組織として「地域医療連携委員会」を設立した。担当理事をチームリーダーとして会員病院から入退院の業務等に携わる職員を中心に開催した。地域における病院群の連携のみならず相模原ルールでの入院受入れ等の機能に関しても検討が重ねられている。
- ② 市から受託している「認知症患者に関する医療機関連携システム事業」に関しては、北里大学東病院並びに市高齢者支援課との連携の下に認知症地域連携パスである「支え手帳」の活用も含めて関連病院との入退院事業を行った。

（5）学術研究事業

- ① 医療講演会・研修会の開催及び医療に関する情報収集を行った。特に相模原市との「医療懇話会」は2月12日に開催され、会長から二次救急医療の実態や看護職確保の必要性についての提言を行った。
- ② 病院運営に必要な各種調査等を実施した。

（6）広報活動事業

- ① 協会ホームページを開設し、市の医療情報や協会主催事業に関する広報活動を開始した。
- ② この開設したホームページには、会員専用サイトを設けて協会理事会議事録や財務等の求められる情報公開を開始した。

- ③ 法人化 25 周年記念誌作成のための編集委員会を協会内に組織化し、2 名の理事に編集責任者と編集委員長を依頼し、平成 26 年度末の完成に向けてスタートをきった。

(7) 福利厚生・褒賞事業

- ① 優良職員表彰は、社員総会終了後に 57 名の職員の方々を対象に表彰を行い、その後の懇親会は、市医師会長、副会長を来賓として懇親会を盛大に挙行了た。
- ② ボーリング大会は 11 月 13 日に 9 病院から 20 チーム 80 名の参加を得て、丘整形外科病院の協力の下に開催した。男子団体優勝は森下記念病院 A チーム、女子団体優勝は、丘整形外科病院 B チームであり参加病院職員相互の交流及び健康増進に取り組んだ。

(8) 公益目的事業

- ① 公益目的事業として、二次救急受託事業と外科二次救急事業や一次事業である「相模原北メディカルセンター急病診療所」への医師派遣事業、災害対策事業、看護職確保対策事業及び認知症対策受託事業を実施した。

(9) 収益事業

- ① 各種予防注射における会員病院取扱い分を収益事業として位置付け、神奈川県知事への認定変更申請を行うと共に、収益の一部を公益目的事業に充当するなど、本協会の財政基盤の強化事業として実施した。

(10) 病院経営に関する事業

- ① 病院経営改善対策に係る情報の共有化、研修、講習会等を目的として事務長部会の中に診療報酬部会を設置して検討を行った。
- ② 医療制度や消費税率改定に係る情報収集、対応策等を目的として事務長部会の中に医療情報分析部会を設置して検討を行った。
- ③ 平成 26 年 4 月、診療報酬改定の情報収集及び研修会開催を目的として 2 月 25 日に「平成 26 年度診療報酬改定のポイントと対策」をテーマとして講演を行い、医師、看護師そして事務職等 120 名の参加があった。

(11) 医療従事者対策事業

- ① 看護師等の確保対策として、公益財団法人相模原市健康福祉財団が運営する相模原看護専門学校の運営に対する支援を継続した。
- ② 協会内に「看護職確保対策委員会」を設置し、慢性的に不足状態が続いている看護師確保について、継続的に対策等を検討し、アンケートを行い相談会、研修会の開催企画立案を行った。特にアンケート結果や研修会の企画等に関しては、平成 25

年度相模原市医師会・相模原市病院協会役員等懇親会を2月7日に開催して看護師確保対策担当理事から報告を行った。

(12) 交流事業

- ① 納涼会は8月21日に市長、副市長を来賓として、協会理事のピアノ演奏も披露され和やかな雰囲気の中で交流と親交が更に深められた。
- ② 平成26年賀詞交歓会は、1月27日に市長をはじめとして約150名の方々のご臨席を得てきらびやかな中にも情感溢れる琉球舞踊のアトラクションもあり盛大ななか開催することができた。

平成25年度 事務長部会の事業報告

第1回 事務長部会 (平成25年6月17日・ウェルネスさがみはら5F会議室)

【内 容】

- (1) 事務長部会の活動計画(案)について
- (2) 活動計画(案)について
- (3) 病院協会の公益法人への移行認定について
- (4) その他、資料配布等

第2回 事務長部会 (平成25年10月4日・ユニコムプラザさがみはら セミナールーム)

【内 容】

- (1) テーマ 『より良い医療をめざして』(保健所の立ち入り検査・医療監視について)
- (2) 講師 相模原市保健所長 小竹 久平 氏
- (3) 参加者 65名

第3回 事務長部会 (平成25年12月18日・ウェルネスさがみはら5F会議室)

【内 容】

- (1) 情報提供
- (2) 診療報酬部研修会による報告
- (3) 事務長部会主催講演会の結果報告
- (4) 看護職確保対策委員会の報告
- (5) 地域医療連携委員会の報告
- (6) その他、NHKアンケートの実施について

第4回 事務長部会 (平成26年3月25日・ウェルネスさがみはらB館集団検診室)

【内 容】

- (1) 情報提供
- (2) 診療報酬部研修会による報告
- (3) 医療情勢分析部会による報告
- (4) NHKアンケート結果について
- (5) 看護職確保対策委員会の進捗状況について
- (6) 平成26年度事業計画及び収支予算の概要について
- (7) 第121回理事会協議事項「診療報酬改定に伴う病院間の連携について」
- (8) 消費税率引き上げに伴う対応などについて
- (9) その他、資料配布等

以 上

平成 25 年度相模原市病院協会看護部長会

事業報告

メインテーマ 「看護の質向上をめざして」

～安心と信頼の看護～

日時	事業内容	参加人数
第1回 4月19日(金) 14:00～15:30	研修会 テーマ:「地域で支える看護師キャリア発達」 北里大学病院 副院長 看護部長 別府 千恵 氏	会場: ラポール千寿閣 参加者:24名
第2回 4月19日(金) 16:00～17:00	平成25年度看護部長会定期総会 ・平成24年度事業報告 ・平成24年度会計・監査報告 ・平成25年度事業計画(案) ・平成25年度収支予算(案) ・平成25年度役員選出 ・各事業より連絡 看護協会相模原支部 神奈川県看護協会 相模原市病院協会	会場: ラポール千寿閣 参加者:23名 委任状:9名
第3回 6月11日(火) 14:00～16:00	研修会 テーマ: 「相模原市の高齢化の現状～保険・福祉計画」 講師:河本 泰志 氏 相模原市健康福祉局保健高齢部 高齢政策課計画推進班 主査	会場: 南メディカルセンター 参加者:40名
第4回 9月10日(金) 14:00～16:00	研修会 テーマ:「エンゼルメイクパート2」 講師:小林 光恵 氏	会場: 南メディカルセンター 参加者:50名
第5回 11月12日(火) 14:00～16:00	研修会:神奈川県看護協会相模原支部共催 テーマ:「高齢人口の爆発に備えて」 講師:小野沢 滋 氏 北里大学病院患者支援センター部 部長	会場: 南メディカルセンター 参加者:61名
第6回 1月18日(土) 9:00～12:30	研修会 テーマ:新人看護師のためのフィジカルアセスメント 講師:北里大学病院集中ケア認定看護師 堀江千恵子 氏 内藤亜樹 氏 北里大学東病院集中ケア認定看護師 齋藤 耕平 氏	会場: 相模原看護専門学校 参加者:19名